第２回　大阪港ベイエリアに関する意見交換会　結果概要

日　　時：平成29年12月21日（木）16:00～18:00

　場　　所：ホテルユニバーサルポート（２階　アクア）

　出席団体　：株式会社ジオ・アカマツ、大阪水上バス株式会社、株式会社キャプテンライン、

株式会社ユー・エス・ジェイ、オリックス不動産株式会社、株式会社大阪シティドーム、

学校法人 森ノ宮医療学園、泉陽興業株式会社、日立造船株式会社、株式会社　海遊館、

伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社、株式会社ホワイト・ベアーファミリー、

北港観光バス株式会社、株式会社キャッスルホテル、ハイアットリージェンシー大阪、

アジア太平洋トレードセンター株式会社

伊藤忠商事株式会社（書面による出席）、ミズノ株式会社（書面による出席）、

株式会社星野リゾート・アセットマネジメント（書面による出席）、

一般財団法人大阪国際経済振興センター（書面による出席）、

大阪府住宅まちづくり部、都市整備部、府民文化部

大阪市都市計画局、建設局、港湾局　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（順不同）

1. **ベイエリアにおける交通等の現状と取組みの情報共有**

ベイエリアにおける交通等の現状と取組みについて、出席者より以下の話題提供をし、情報共有を

行った。

・ベイエリアの交通網の現状について　 ・舟運について

・乗合バスについて　　　　　　　　　　・自転車利用について（シェアサイクル、サイクルルート）

1. **べイエリアの回遊性向上、多様な交通手段による連携について**

出席者より、以下の意見が出された。

**【水上交通】**

・新しい航路の便ができれば、回遊性は向上するのではないか。

（ATC、ユニバーサルシティポート、舞洲、天保山、南港、神戸、淡路など）

・海上交通による人の輸送は、イベント等において陸上交通網の輸送能力を超える場合などには有効となる

場合がある。

　　　・関係者が協力することで、新たな航路ができることを期待。

**【乗合バス・送迎バス】**

・駅からの送迎が課題であり、周辺施設と連携しながら、送迎システムを作っていきたい。

・咲洲（南港）、および大阪港（北港）、ユニバーサルシティ方面のベイエリアを回遊するシャトルバスの定期

便運行があればよい。

　**【自転車・自動車】**

・自転車やバスの活用により、回遊性を向上させ、各施設の連携を図りやすくする。

・乗り捨て型のカー、バイクシェアリングの導入。

・周辺施設の駐車場共有パスで、自家用車での回遊性の向上を図るのはどうか。

・自転車は海底トンネルを通れないので、バスや船に乗せるなどの工夫が必要。

**【全体】**

・エリアのポテンシャルやアクセス性を情報発信していきたい。

・利用者が認知しやすい既存のインフラの活用。

・船やバスや自転車等で、民間と行政で連携した回遊性を向上させる取組みを行ってはどうか。

以上